

小学校第6学年 国語科学習指導案

日 時 平成25年6月25日(火) 2校時
指導者 教育センター所員 森 寿子

単元名 書き手のくふうを考えながら新聞の投書を読もう
教材名 「新聞の投書を読み比べよう」 (東京書籍 6年上)
『わたしの意見』を書こう

1 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、これまで、「広告と説明書を読みくらべよう」(東京書籍4年上)で目的による表し方の違いを読み取り、「新聞記事を読み比べよう」(東京書籍5年上)で2つの新聞記事を読み比べて、書き手の意図を読み取る学習を行ってきた。また、「イースター島にはなぜ森林がないのか」(東京書籍6年上)で、事実とそこから導き出される筆者の主張の中心を正確に捉えて全体の要旨を把握し、筆者の主張に対する自分の考えをもつ学習を行ってきた。このように、意見を述べた文章を利用する、文章を読んで自分の意見をもつなどの言語活動の経験はあるものの、新聞の投書を教材にして意見文の学習をすることは初めてである。

これまでの学習の中で、自分の考えを明確にして表現する学習を行ってきた。実際に、自分の意見を文章にするときの留意点として、理由を書く、主張を具体的に書く、相手が納得できるように書く等を挙げて書くことができる児童は少ない。また、説明的な文章を内容のまとまりに着目して読んだり、構成に目を向けて段落を分けたりすることができる児童も少ない。本教材で取り扱う「新聞」については、他教科での学習や学級の係活動などで新聞づくりを行う経験はあるものの、日常生活で「新聞」を読んでいる児童は少なく、どんなことが書かれているかを知っている児童はわずかである。このことから、読み手を説得するための工夫を新聞の投書から読み取ったり、その工夫を生かして意見文を書いたりするという指導は有効であると考えられる。

(2) 教材観

「新聞の投書を読み比べよう」は、同じテーマに対する新聞の投書を比べて読む活動を通して、読み手を説得するための工夫がどのようにされているかを捉え、自分の考えをもつことをねらいとしている。ここで取り上げられている4つの投書は、序論・本論・結論で構成された説明文となっており、説明の工夫や表現の工夫がされている。書き手の年齢層や性別が異なる4つの投書は、「自分の経験」「実際に見たり聞いたりしたこと」「資料に基づく具体的なデータ」「有名人の言葉を引用」して理由付けの仕方や根拠の挙げ方を工夫している。投書の説明の工夫を読み取り、それらに対しての自分の考えをもたせることで、意見の広がり期待できる。

『わたしの意見』を書こうは、自分の考えや根拠を整理し、構成を考えて説得力のある意見文を書くことをねらいとしている。読む活動での事実や意見を区別しながら構成し、予想される反対意見に対する反論を述べる工夫を活用させ、読み手を意識して意見文を書かせる教材である。論理的に考える力とともに、相手に分かりやすく伝わる文章表現力を身に付けさせることができると考える。

この二つの「読むこと」と「書くこと」を複合させた単元を設定することで、児童が目的をもって主体的に読み、自分の意見を書く活動を行うことができると考える。

(3) 指導観

指導に当たっては、「意見文を書く」という言語活動(「書くこと」(2)イ、「読むこと」(2)イ)を単元を貫く言語活動として設定する。まず、本単元で扱う「新聞」について知る活動を行う。ここでは、

実際に新聞を持ち寄り、投書欄に着目させ、投書を分類しながら、その特性に気付かせる。また、「書き方に着目して投書を読み、新聞に投書しよう」と呼び掛け、本単元で児童が一貫した学習課題をもって学習に臨むことができるようにする。

次に、「新聞の投書を読み比べよう」では、意見文を書く上での、読み手を説得するための工夫を読み取らせていく。構成や表現の工夫の共通点と相違点に気付くことができるよう、投書を読み比べさせるときに、色分けすることで段落構成の特徴に目を向けさせる。また、説明の工夫をより分かりやすくするためにICTを活用した場面を取り入れる。このことを通して、それぞれの意見や主張、理由付けの仕方や根拠の挙げ方の特徴に気付かせ、自分が意見文を書くときに生かせるようにさせる。

『わたしの意見』を書こうでは、投書の読み比べを通して身に付けた、読み手を説得するための工夫を参考にして、実際に新聞に投書する目的で意見文を書かせる。テーマは自分で決定させ、相手意識をもって構成、記述、推敲、交流という各過程の活動を主体的に行わせていく。特に、交流の過程では、書く目的や意図に応じた文章表現や構成になっているかについて具体的に助言を合い、そのことを参考に意見文を修正することで、より説得力のある意見文になるようにさせる。

このように、「意見文」に関する言語活動を通して「読むこと」と「書くこと」の指導を行うことによって、実社会に関わる活動を行うことで身近なものについて目的をもって読んだり、自分の考えを明確にし、意見を効果的に伝えたりする能力を育むことができると考える。

2 単元の目標

- (1) 新聞の投書の特徴を捉えて説明の工夫を読み取り、自分の意見を明確に書こうとすることができる。
- (2) 自分の意見を明確に伝えるために、予想される反対意見とそれに対する反論を、構成を基にして書くことができる。
- (3) 理由付けの仕方や根拠の挙げ方に気を付けて投書を読み比べ、それぞれの書き手の工夫を捉えることができる。
- (4) 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。

3 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の投書の特徴を捉え、進んで書き手の主張や説明の工夫を読み取ろうとしている。 ・自分の意見を明確にもって意見文に表したいという願いをもち、それが伝わるように読み手を意識した文章を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書く事柄を整理し、具体例や根拠など説得力のある構成を考えている。 【B書くこと(1)イ】 ・自分の意見を明確に伝えるために、理由や根拠、予想される反対意見とそれに対する反論を、構成を基にして書いている。 【B書くこと(1)ウ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由付けの仕方や根拠の挙げ方に気を付けて投書を読み比べ、それぞれの書き手の工夫を捉えている。 【C読むこと(1)ウ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(キ)】

4 指導と評価の計画（全 11 時間）

次	単	学習活動	指導上の留意点	評価とその方法
一	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞について興味をもち、投書の特性を知る。 ○ 書き方の工夫を読み取り、実際に意見文を書くという学習課題をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に新聞を持ち寄せ、その特徴に気付くことで、新聞への興味をもたせる。 ・新聞に掲載されている投書欄を紹介し、様々な年齢層や性別が書いた投書の工夫に気付かせる。 ・新聞の投書欄に掲載されている作品を提示することで、自分たちも実際に意見文を書いて投稿するという目標を明確にさせる。 	<p>【関】新聞について興味をもち、投書の特徴を見付けながら読もうとしている。 (ワークシートの記述及び発言)</p> <p>【関】意見文に対して興味をもち、意見文を書く学習に見通しをもって取り組もうとしている。 (ワークシートの記述及び発言)</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文を読み、学習計画を立てる。 ○ 投書するテーマを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文「新聞の投書を読み比べよう」と『わたしの意見』を書こうの扉の部分を読ませ、書き手の工夫を捉えて意見文を書くという単元構成についてのイメージをもたせる。 ・新聞に投書するテーマを決め、目的に合った読み取りにつなげさせる。 ・学習計画を立てさせる。 	<p>【関】新聞の投書の特徴を捉え、進んで書き手の主張や説得の工夫を読み取ろうとしている。 (ワークシートの記述及び発言)</p>
二	3 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文の投書①から④の書き手の意見や主張、その理由や根拠を捉える。 ○ 書き手の主張をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落の構成を確認させる。 ・以下のように色分けすることで視覚的に段落構成の特徴に気付かせる。 ◇書き手の意見 → 緑 ◇第1の理由や根拠 → 青 ◇第2の理由や根拠 → 青 ◇予想される反対意見に対する反論 → 赤 ◇書き手の意見(まとめ) → 緑 ・4つの投書の書き手の主張をまとめさせる。 	<p>【読ウ】理由付けの仕方や根拠の挙げ方に気を付けて投書を読み、書き手の主張を捉えている。 (ワークシートの記述及び発言)</p> <p>【言イ】文章全体の構成について理解している。 (ワークシートの記述)</p>
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文の4つの投書の説得の工夫を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの投書の段落の構成や内容について気付いたことを確認させる。 ・4つの投書の説得の工夫に気付かせる。 ◇投書①→自分の経験を述べる投書 ◇投書②→見たり聞いたりしたことを述べる ◇投書③→資料に基づく具体的なデータを使う ◇投書④→有名な人の言葉を引用する ・意見文を書くときは、4つの例を参考に書けばよいことを捉えさせる。 	<p>【読ウ】投書の内容を読み比べ、それぞれの書き手の工夫を捉えている。 (ワークシートの記述及び発言)</p>

	5	○ 自分が最も納得できる投書を1つ選び、その理由を明確に書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの投書を比べながら読み、共通点と相違点に気付かせる。 ・納得する理由を考える観点を示し、なぜ納得したのかの理由を明確にもたせる。 ◇理由や根拠として挙げていることはどうか。 ◇理由付けの仕方や根拠の挙げ方はどうか。 ◇自分の知識や経験などと結び付けてみてどうか。 ・理由を書かせるときには、モデル文を提示する。 	【読ウ】投書を読み比べ、書き手の工夫を捉えて、納得できる理由を書いている。 (ワークシートの記述及び発言)
三	6	○ 自分が選んだ題材について意見文を書く計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある意見文を書くために、取材や調査などの情報収集のための計画を立てさせる。 	【関】自分の意見を明確にもって意見文に表したいという願いをもち、それが伝わるように読み手を意識した文章を書こうとしている。 (ワークシートの記述及び観察)
	7	○ 説得力のある意見文の書き方について二次の学習を振り返り、構成メモを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・「新聞の投書を読み比べよう」の学習を思い出させ、基本的な構成について確認する。 ・構成メモを書かせる際に、反対意見に対する反論を取り入れる効果について考えさせる。 	【書イ】書く事柄を整理し、具体例や根拠など説得力のある構成を考えている。 (ワークシートの記述及び観察)
	8	○ 取材や調査したことについて、書く材料を整理して構成を決定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文を書くために取材や調査したことや自分の経験を整理し、構成を考えさせる。 ・以下の観点を与え、全体の構成を考えさせる。 ①身近な経験からのきっかけがあるか。 ②理由や根拠に説得力があるか。 ③反対意見に対する反論の挙げ方に説得力があるか。 	【書イ】書く事柄を整理し、具体例や根拠など説得力のある構成を考えている。 (ワークシートの記述及び観察) 【言イ】文章全体の構成について理解している。 (ワークシートの記述)
	9	○ 第二次の学習を生かしながら、読み手を意識して意見文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えた構成メモを基に、文章全体の組み立てや表現の効果を考えながら意見文を書かせる。 ・実際に新聞に投稿することを意識させ、文字数を限定する。 	【書ウ】自分の意見を明確に伝えるために、理由や根拠、予想される反対意見とそれに対する反論を、構成を基にして書いている。 (意見文の記述)
	10	○ 書いた意見文を仕上げ推	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた意見文に修正すべきところが 	【書イ】自分の意見を明確に

		<p>敲する。</p>	<p>ないか、見直しをさせる。他の児童とも交換させて確かめさせる。</p>	<p>伝えるために、構成を基にして書いているか確かめている。 (意見文の記述)</p>
四	11	<p>○ グループで書き上げた意見文を読み合い、意見を伝えたり助言をしたりする。</p> <p>○ 単元の振り返りをする。</p>	<p>・グループで書き上げた意見文を読み合い、よさを学ばせたり助言し合ったりさせる。</p> <p>・単元を通して学んできたことを振り返らせ、これからの日常生活に役立たせることを促す。</p>	<p>【関】自分の意見を明確にもち、今後も読み手を意識した文章を書こうとしている。 (ワークシートの記述及び観察)</p>

5 本時の指導 (3/11)

(1) 目標

新聞の投書の書き手の意見や主張、その理由や根拠を捉え、書き手の主張をまとめることができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを知る。</p>	<p>○ 投書とはどういうものを想起させ、学習計画表を基に単元の進め方を確認させる。</p> <p>○ 読み手を説得するための投書を書くために、4つの投書を読み比べていくことを知らせる。</p> <p>○ 本時のめあてを確認し、学習の見通しをもたせる。</p>
<p>4つの投書の書き手は、どんな主張を述べているか考えよう。</p>	
<p>2 投書①を読み、書き手の意見や主張、その理由や根拠を考える。</p>	<p>○ 投書①の形式段落を確認させ、6つの段落から構成されていることを確認させる。</p> <p>○ 電子黒板に【段落の構成】を提示し、どこの段落に書かれているのか把握させる。</p> <p>○ 「書き手の意見や主張」が書かれている段落を緑、「第1の理由や根拠」「第2の理由や根拠」が書かれている段落を青、「予想される反対意見に対する反論」が書かれている段落を赤、「書き手の考え(まとめ)」が書かれている段落を緑で色分けすることで、段落の構成を捉えさせる。</p> <p>○ 書き手の意見や主張、考えが2段落と6段落で述べられていることを確認させ、簡潔にまとめさせる。</p>
<p>【段落の構成】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 話題の提示 2 書き手の意見や主張 3 第1の理由や根拠 4 第2の理由や根拠 5 予想される反対意見に対する反論 6 書き手の考え 	
<p>3 投書②から④を読み、それぞれの書き手の意見や主張、その理由や根拠を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人 ・グループ ・全体 	<p>○ 投書②から④の形式段落を確認させ、投書①と同様に、6つの段落から構成されていることに気付かせる。</p> <p>○ 段落の構成の色分けが分からない児童に対しては、「話題の提示」「書き手の意見や主張」「第1の理由や根拠」「第2の理由や根拠」「予想される反対意見に対する反論」「書き手の考え」に書かれてある言葉を基に考えさせる。</p>
	<p>【評価】 言イ 文章全体の構成について理解している。(ワークシート)</p> <p>○ 書き手の意見をまとめる際は、投書①と同様に、2段落</p>

<p>4 本時の学習のまとめをする。</p> <p>5 学習を振り返り，次時の活動を確認する。</p>	<p>と6段落に着目させるようにする。</p> <p>○ 個人→グループ→全体という段階を踏んで書き手の意見を考えさせたり，意見を交流させたりすることで，書き手はどのような意見をもって投書を書いているのか捉えさせる。</p> <div data-bbox="762 369 1481 510" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】ウー1 理由付けの仕方や根拠の挙げ方に気を付けて投書を読み，書き手の主張を捉えている。 (ワークシート)</p> </div> <p>○ 4つの投書は，6つの段落の構成になっていることを確認させる。</p> <p>○ 初めと最後に書き手の主張や考えを述べることで，説得力のある文章になっていることに気付かせる。</p> <p>○ 次時は，4つの投書を読み比べて，説得するための工夫を見付けていくことを知らせる。</p>
---	---